

ハチ博士の ミツバチコラム

19



京都大学 大学院
環境学部
バイオ環境学
教授 坂本文夫

菜の花

「菜の花鳥に入り日薄れ
見わたす山の端 霞ふかし」
は童謡「朧（おぼろ）月夜」
の一節ですが、春がすみの
中、目の前に広がる黄色の
じゅうたんが目に浮かぶよう
です。菜の花の黄色のじゅう
たんのうち、田畑に栽培され



イラスト おおくぼひとみさん

ているのはセイヨウアブラナ
で、あぜ道や河川敷に生い
茂っているのは野生化したセ
イヨウカラシナです。

菜の花は、アブラナ（菜
種）の別名ですが、アブラナ
科アブラナ属の花全体も指す
ので、早春から晩春にかけて
咲く多くの黄色の花が菜の花
と呼ばれます。例えば、カラ
シナ、タカナ、キョウナ、カ
リフラーワ、キャベツ、ブ
ロッコリー、ミズナ、カブ、
ノザワナ、コマツナ、ハクサ
イ、チンゲンサイなど、葉物
の野菜が収穫されずにとうが
立って花が咲いたものがそう
です。これらはアブラナと同
様に黄色の花ですが、アブラ
ナ科の植物には白や紫の花が
咲くものがあるので、「白い

菜の花」、「紫の菜の花」と呼
ばれることもあります。菜の
花は蜜源植物として重要で、
ミツバチ達は蜜集めに黄色の
じゅうたんを忙しく飛び回っ
ています。

セイヨウアブラナやセイヨ
ウカラシナから取れる菜種油
は昔から食用や灯油用として
重要でしたが、最近ではバイオ
ディーゼル燃料として脚光を
浴びています。これらは太陽
光をエネルギー源にして、大
気中の二酸化炭素を固定して
油が詰まった実をつけます。
この油を燃やして車を走らせ
ても、大気中の二酸化炭素を
増やしません（いわゆるカー
ボンニュートラル）ので、地
球温暖化の抑制に役立つわけ
です。ミツバチ達の授粉によ
り菜種油の収量が増大します
ので、ミツバチ達は地球温暖
化の抑制にも一役買っている
のです。